

国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（平成27年度第3回）議事録

日 時 平成27年6月25日（木）10:00～12:00
場 所 国立研究開発法人国立がん研究センター 第1会議室
出席者 堀田知光理事長 児玉安司理事 松本洋一郎理事 南砂理事 門田守人理事
中釜斉理事
小野高史監事 長崎武彦監事

議事概要

I. 理事会（平成27年度第2回）議事録の確認

- ・資料のとおり了承された。
- ・議事録署名人を中釜斉理事と長崎武彦監事をお願いした。

II. 審議事項

1. がん分子修飾制御学分野の創設について

- ・外部委員による研究所評価委員会の意見を踏まえ、これまで組織を改編してきたところである。さらに平成28年1月に向け、新組織として新たに「がん分子修飾制御服分野」を創設することについて説明がなされ、承認された。

2. 平成26年度決算（案）について

- ・平成26年度決算（案）について資料に基づき説明がなされ「平成26年度（第5期事業年度）財務諸表等」について承認された。
- ・医業収支差の要因分析について意見交換があり、経営改善プロジェクトが平成27年度も着実に実行していくよう求められた。

3. 平成26年度及び第1期中期目標期間評価の自己評価書（案）

- ・平成26年度及び第1期中期目標期間の自己評価について資料に基づき説明がなされ、承認された。
- ・研究にかかる評価は、アピールの方法が難しい。社会に還元できる成果があったか。それをどの様に表現するか考える必要がある。
- ・数値化できない項目は、客観的な評価が難しい。
- ・がんセンターならではの医療、役割に合わせた評価軸を作っていくことを考える必要がある。

III. 報告事項

1. 国家戦略特区案／柏の葉ヘルス・イノベーション拠点構想について

- ・柏市が国家戦略特区として内閣府へ提案し審査を受けている「柏の葉ヘルス・イノベーション拠点構想」について資料に基づき報告がなされた。
- ・東病院が実施主体となる計画の中で医療ツーリズムに関する記述が含まれているが、東病院が推進するかのように取られるのは疑問がある。
- ・柏市で力を入れている、超高齢化社会にどう対応していくのかといった構想があり、これらに連携していった方が良かったのではないかと意見が出された。

- ・この提案のプロセスを含め、内容を検討する必要があるのではないか。
 - ・この国家戦略特区案については、センター内で再度議論することとする。
2. 第51回がん対策推進協議会資料
 - ・6月10日に行われた第51回がん対策推進協議会においてがん対策推進基本計画中間評価（案）及び今後のがん対策の方向性について（案）がまとめられたとの報告がなされた。
 3. がんサミット がん対策加速化プランについて
 - ・6月1日に丸ビルホールにおいてがんサミットが開催され、がん対策加速化プランを作成していくことについて報告がなされた。
 4. 文部科学省 がん研究に係るプログラムの今後の在り方に関する検討会
 - ・6月17日にごん研究に係るプログラムの今後の在り方に関する検討会が開催され、堀田理事長、中釜研究所長、藤原企画戦略局長が委員として参加しているとの報告がなされた。
 5. 広報実績について
 - ・5月21日から6月11日までの間にあったプレスリリース、取材申込み等について報告がなされた。
 6. 今般の個人情報流出事案を踏まえて、緊急で講じた措置及び今後講じる予定の措置について
 - ・年金機構で発覚した個人情報流出事案及び精神・神経センターで発覚したマルウェア感染疑い事案を受けて、厚生労働省の指示によりセンターにおいて講じてきた措置について報告がなされた。
 - ・6月24日にCIOの打合せが厚生労働省において行われ、マルウェア対策について報告がなされた。
 7. 平成27年4～5月分月次決算について
 - ・平成27年4～5月分月次決算について報告がなされた。